

ホームページ掲載文章

当院において2000年1月1日～2013年12月31日に節外性NK/T細胞リンパ腫と診断
および加療を受けられた患者さんへのお知らせ

課題名：新世代治療導入後の未治療NK/T細胞リンパ腫における治療実態把握と予後予測モデル構築
を目的とした国内および東アジア多施設共同後方視的調査研究

研究の概要

川崎医科大学 血液内科学教室と放射線医学(治療) 教室では、上記研究を実施します。
研究期間は、倫理委員会承認日～平成29年3月31日の予定です。

対象は2000年1月1日～2013年12月31日に節外性NK/T細胞リンパ腫と診断および加療を受けられた患者さん方です。患者さんの経過を検討するための既にあるデータを使用する後方視的調査研究を実施します。具体的には診療記録、デジタル画像から情報を抽出して評価します。当教室の調査実施期間は倫理委員会承認日～平成29年3月31日の予定です。

治療介入を伴わない「観察研究」で、既存資料のみを用いた研究であるため、新たに採血などの人体試料は採取しません。個人が直接同定されうる情報は収集いたしません。

研究をするために必要な資金をスポンサーから提供してもらうことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが起こりかねない状態を利益相反状態と言います。この研究課題を実施する関係者には、Meiji Seika ファルマ(株)、大日本住友製薬(株)、一般社団法人日本血液製剤機構、プリストル・マイヤーズ(株)、アステラス製薬(株)、中外製薬(株)、MSD(株)、エーザイ(株)、協和発酵キリン(株)、大正富山医薬品(株)、塩野義製薬(株)、大鵬薬品工業(株)より、奨学寄付金の受け入れがありますが、利益相反委員会にこの内容を申告し、適正に管理されています。なお、上記企業は、本研究課題には直接関係はない企業です。この研究は代表である三重大学医学部附属病院血液内科山口素子取得の科研費[種目：基盤研究(C)]を用いて行う研究であり、研究結果に影響を及ぼしかねない資金の受け入れおよび使用はないため、深刻な利益相反の状態にはなっていません。

この研究に関してご質問のある方や研究への参加を希望されない方は、下記までご一報下さいますようお願い致します。

問い合わせ先：川崎医科大学 放射線医学(治療)
〒701-0192 倉敷市松島577 TEL：086-462-1111 FAX：086-464-1175
電子メール：radoncol@med.kawasaki-m.ac.jp